

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

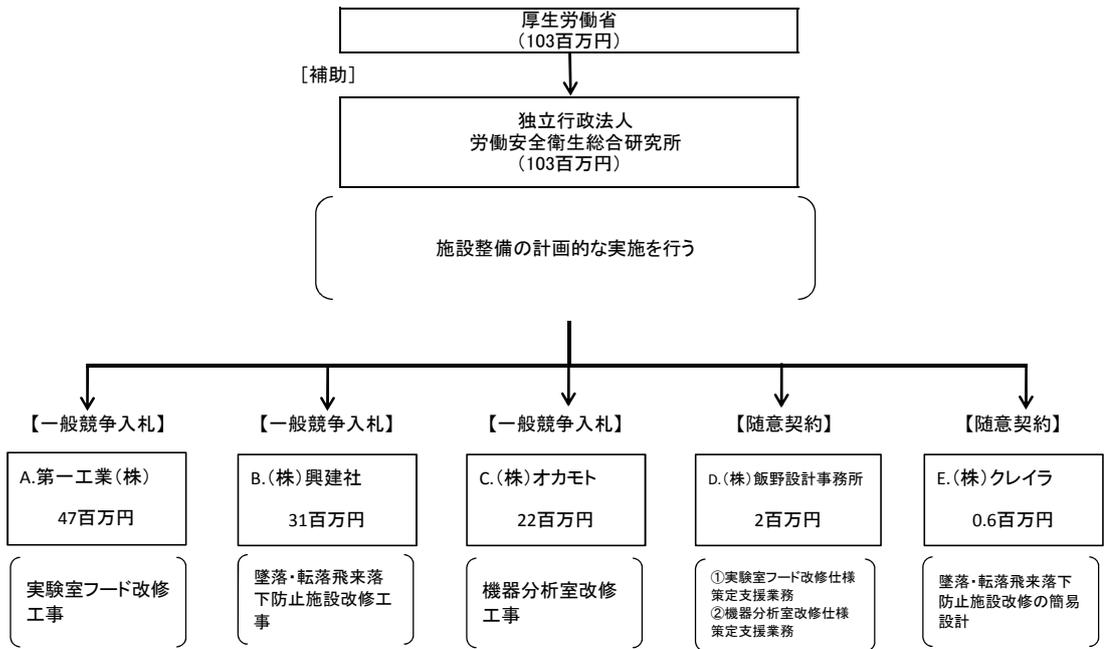
事業名	独立行政法人労働安全衛生総合研究所施設整備費に必要な経費			担当部局庁	労働基準局安全衛生部			作成責任者	
事業開始年度	平成18年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	計画課			美濃 芳郎	
会計区分	労働保険特別会計労災勘定			政策・施策名	Ⅲ-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人労働安全衛生総合研究所法第11条 労働保険特別会計法第四条第2項第二号			関係する計画、通知等	独立行政法人労働安全衛生総合研究所 中期目標・中期計画 独立行政法人労働安全衛生総合研究所年度計画				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人労働安全衛生総合研究所の既存の施設・設備について、耐用年数、用途、使用頻度、使用環境等を勘案し、計画的に更新、整備を進めることにより、調査研究業務の確実かつ円滑な運営に資することを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	安全衛生分野の調査及び研究を確実かつ円滑に遂行するため、(独)労働安全衛生総合研究所の施設・設備の更新・整備に対して、耐用年数、用途、使用頻度、使用環境等を勘案し、補助を行う。								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算状況	当初予算	56	56	121	89	-		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	56	56	121	89	0			
	執行額	50	42	109	-				
執行率(%)	89%	75%	90%	-					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 -年度	
	【平成24年度まで】 「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて」(平成21年11月17日閣議決定)に基づき、監事及び外部有識者によって構成する「契約監視委員会」を設置し、年3回以上開催し、適正な入札参加要件の設定や公示期間の十分な確保など、契約の点検及び適正化を実施する。	【平成24年度まで】 「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて」(平成21年11月17日閣議決定)に基づき、監事及び外部有識者によって構成する「契約監視委員会」を設置し、年3回以上開催し、適正な入札参加要件の設定や公示期間の十分な確保など、契約の点検及び適正化を実施する。 また、契約状況については、独立行政法人労働安全衛生総合研究所のホームページで公表する。	成果実績	回	4	-	-	/	
			目標値	回	3	-	-		
			達成度	%	133%	-	-		
定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度		
【平成25年度から】 施設整備に関する計画的確実な実施を行う。 (平成25年度2件、平成26年度3件、平成27年度4件)	【平成25年度から】 施設整備に関する計画的確実な実施を行う。	成果実績	件	-	2	3	/		
		目標値	件	-	2	3		4	
		達成度	%	-	100%	100%			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	【平成24年度まで】 施設整備に関する計画的確実な実施を行う。	活動実績	件	2	-	-	/		
		当初見込み	件	2	-	-		-	
		活動指標		単位	24年度	25年度		26年度	27年度活動見込
【平成25年度から】 「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて」(平成21年11月17日閣議決定)に基づき、監事及び外部有識者によって構成する「契約監視委員会」を設置し、年3回以上開催し、適正な入札参加要件の設定や公示期間の十分な確保など、契約の点検及び適正化を実施する。	活動実績	回	-	3	3	/			
		当初見込み	回	-	3		3	3	
		算出根拠		単位	24年度		25年度	26年度	27年度見込
単位当たりコスト	単位当たりコスト = X / Y			単位当たりコスト	百万円/件	25	21	34	22
	X:「工事総費用」 Y:「施設整備に関する計画に基づく工事件数」			計算式	X / Y	50百万円/2件	42百万円/2件	103百万円/3件	89百万円/4件

平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	独立行政法人労働安全衛生総合研究所施設整備費補助金	89	-	前年度限りの経費
計	89	0		

事業所管部局による点検・改善

国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	我が国が依然として安全衛生上の様々な課題に直面している中で、安全衛生に関する社会等のニーズに対応した研究を確実かつ円滑に行うために必要な施設整備である。			
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	労働安全衛生に関する総合的な研究、労働災害の調査及びその社会への還元を目的とした労働安全衛生総合研究所で行っている事業を確実かつ円滑に行うための事業であり、地方自治体、民間企業における実施は本質的にはなじまない。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	労働安全衛生総合研究所の施設整備に要する経費を補助することにより、研究法第12条に定める業務を円滑に行い、もって職場における労働者の安全及び健康の確保に寄与するものであり、優先度は高い。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	何れも一般競争入札により施設整備を行っており、妥当である。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	労働安全衛生に関する社会的ニーズに対応した研究に必要な施設の整備であり、事業主から徴収した労災保険料から経費を支出しており、受益者との負担関係は妥当である。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札によりコスト削減に努めており妥当な水準になっている。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	研究計画段階でヒアリング・評価するなど精査しており、事業目的に限定されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用は、入札効果によるものであるが、計画どおり施設整備が実施されたことから、妥当である。			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	成果実績は目標を達成している。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	一般競争入札によりコスト削減に努めている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	施設整備に関する計画に基づき、着実に整備がなされている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	計画対象の施設は、利用目的を精査して計画しており、整備後は調査研究業務に十分に活用している。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	関連事業について、本事業と同じ部署で対応している。			
	所管府省・部局名	事業番号		事業名		
	厚生労働省安全衛生部	366		独立行政法人労働安全衛生総合研究所運営費交付金に必要な経費		
点検・改善結果	点検結果	法人の中期計画に沿った予算執行がなされていること、また、成果目標及び活動指標をともに達成できていることから、必要な施設整備を計画的かつ的確に実施していると考え。				
	改善の方向性	引き続き、中期計画に基づき、施設整備の計画的な実施に努める。				
外部有識者の所見						
独立行政法人の設備更新であり、一般競争入札に依っており、より効率的な調達を期待。(増田)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	事業は当初の予定どおりの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	外部有識者の指摘については、統合後の法人において対処していくこととする。					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	906	平成23年度	1004	平成24年度	845	
平成25年度	367	平成26年度	375			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.第一工業株式会社			E.株式会社クレイラ		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	施設費	実験室フード改修工事	47	施設費	墜落・転落飛来落下防止施設改修の簡易設計	0.6
	計		47	計		0.6
	B.株式会社興建社			F.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	施設費	墜落・転落飛来落下防止施設改修工事	31			
	計		31	計		0
	C.株式会社オカモト			G.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	施設費	機器分析室改修工事	22			
	計		22	計		0
D.株式会社飯野設計事務所			H.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
施設費	実験室フード改修仕様策定支援業務	0.9				
施設費	機器分析室改修仕様策定支援業務	0.9				
計		1.8	計		0	

支出先上位10者リスト

A.					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	第一工業株式会社	実験室フード改修工事 (落札率非公表)	47	2	-

B.					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社興建社	墜落・転落飛来落下防止施設改修工事 (落札率非公表)	31	2	-

C.					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社オカモト	機器分析室改修工事 (落札率非公表)	22	2	-

D.					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社飯野設計事務所	実験室フード改修仕様策定支援業務	0.9	随意契約	-
2	株式会社飯野設計事務所	機器分析室改修仕様策定支援業務	0.9	随意契約	-

E.					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社クレイラ	墜落・転落飛来落下防止施設改修の簡易設計	0.6	随意契約	-